

都立大泉高等学校同窓会・いずみ会誌

会報 いずみ

第39号

会報 いずみ 第39号

発行 平成7年9月1日
 編集人 山田清子
 発行人 田中英道
 発行所 いずみ会
 〒178 練馬区東大泉5-3-1
 都立大泉高校内
 ☎ 03-3924-0318
 印刷所 (有)一光印刷所
 〒176 練馬区旭丘1-67-8
 ☎ 03-3953-3336



10月14日(土) いずみ会50周年祝賀会、母校にて。

午後2時、ご参集を。

がらんと、勤勉と儉約をモットーに高度成長や所得倍増の道をひたすら走ってきました。その結果、農業国から工業生産国へと完全に脱皮し、大量生産により自動車、電気製品等をすべての家庭が所持するようになりました。そして物質的に豊かな生活に狂奔していたとき突然バブルの崩壊という災害に襲われました。それは今まで信じて疑う者のなかつた日本式経営の根幹すら見直しを迫られるものでした。

今年、いずみ会創立五十周年をお祝いする記念の年です。十月十四日(土)にいずみ会五十周年記念祝賀会が、母校で開催されます。いずみ会が歩んできた五十年は日本の戦後五十年の歴史と一致します。思い起こせば焼け野原であった国土から、今日のような豊かな社会に変貌しました。それは夢のような話であるという思いを持たれる方々もたくさんいると思います。貧しさの中から必死に立ちあ

また最近、阪神大震災、宗教法人による蛮行と、安全の国日本で、よもや起きるはずもないと思われていた事件が発生してしまいました。ちよつと振り返ってみても、いずみ会五十年の歩みは本当に大きな変化の中を辿ってきたんだなあと思います。そのどこかの三年間を、青春時代の私達は共に大泉高校で学生生活を過ごしました。それはいずみ会員にとって、その後の人生を大きく左右するほどの影響力を持つ貴重な体験だったのではないのでしょうか。そんな懐かしい思い出を、同

期(友、そして懐かしい恩師、また運動部や文化部で共に学んだ先輩後輩の人たちと一緒に、一堂に集まって語り合おうではありませんか。これを「いずみネットワークづくり」と名付け、十月十四日の祝賀会に「全員集合!」の場をつくりました。すでに四十の期と二十二のクラブOB会やサークルから百人あまりの方々事に事前準備にとりかかって頂いています。さらに玄関から体育館へ通じる二階の廊下にて、大泉高校五十年の写真展示とともに「いずみネットワークづくり」のパネルも並べられるようにしました。

写真による報告、伝言板など、どのようにもお使いただけます。これはとくに「マスケットを一緒に作った仲間」「経済ラーメン(25〜45円)を食べた仲間」「地域別大泉同窓会など、諸々の輪も参加して、にぎやかにしてほしいと思います。いずみ会五十周年記念祝賀会へ出席のために、お友達と連絡をとりあって、①同封の出席連絡ハガキを九月十五日までに投函、②同封の「いずみ会五十周年記念事業」の振込用紙にて九月末日までに会費を振込み、一人でも多くこの画期的なイベントに参加して下さい。また当日は体育館内で会場づくりや受付、接待などに多くの人手が必要です。お手伝いくださる方は、九月三十日の第四回拡大実行委員会にぜひおいでくださるようお願いいたします。

十月十四日(土)に皆で集まり、楽しくお祝いしましょう。

連絡先 いずみ会五十周年記念祝賀会実行委員会事務局
 〒171 東京都豊島区西池袋二丁目三九一八 ローズベイ池袋5F
 匠設計事務所 椎葉亮一
 ☎ 03-33998818 471
 FAX 03-33998818 472

(くわしくは同封の「青春への思い出切符」をご覧ください)

いずみ会五十周年記念祝賀会へ出席のために、お友達と連絡をとりあって、①同封の出席連絡ハガキを九月十五日までに投函、②同封の「いずみ会五十周年記念事業」の振込用紙にて九月末日までに会費を振込み、一人でも多くこの画期的なイベントに参加して下さい。また当日は体育館内で会場づくりや受付、接待などに多くの人手が必要です。お手伝いくださる方は、九月三十日の第四回拡大実行委員会にぜひおいでくださるようお願いいたします。

十月十四日(土)に皆で集まり、楽しくお祝いしましょう。

連絡先 いずみ会五十周年記念祝賀会実行委員会事務局
 〒171 東京都豊島区西池袋二丁目三九一八 ローズベイ池袋5F
 匠設計事務所 椎葉亮一
 ☎ 03-33998818 471
 FAX 03-33998818 472

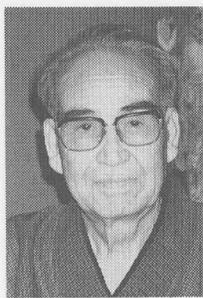
(くわしくは同封の「青春への思い出切符」をご覧ください)

五十年思い出語り——花崎文一先生 文ちゃん、戦わずしてアメリカに勝たんと大泉に教鞭をとる

大泉高校に赴任したのは、一九四七(昭和二二)年の秋であった。戦時中は軍の研究所に居たので一年間は公職に就けなかつた。そこで友人の關係で五大財閥解体で浅野と三菱の合資の会社に居た。

当時私は、アメリカと一戦交えたかった。十年でアメリカに戦わずして勝つ方法があつた。幾ら掛かると言われ一億呉れと言つたら、ウーンとうなられた。そこで日本を立て直すのには「青少年を育成する以外にない」と考えた。これは学生時代、山岡鉄舟の門に学んでいたころ「人生一番大切な時期は白線高校、次に中学である」と聞かされて来たので、大学の職を断り教育を志した。軍の研究所が諏訪であつたので諏訪中学(現在清陵高校。御子柴先生は当時優秀な生徒)に一年居た。

そこに大泉の二代校長の両角先生が是非にきて八ヶ岳の原村に三度も訪ねて来て呉れた。当時母校の文理大、戸山高校から話が来ていたが、大学は目的外。三度の要請にあの諸葛孔明の故



花崎先生近影

事を考え、大泉に決めた。

これには裏があつた。赴任すると第一声は「学校に電気を引いて呉れ」であつた。「それは校長や教育委員会のする仕事だ」というと「それが出来ないの君の来るのを待っていた。大学で彼は不思議な人間だ、困つた事があつたら頼め、不思議と遣つてくれるから、と言われている」と言われ、やむをえず当時の商工省(通産省) 関東配電に交渉に行った。

「先ず教育のために電力を」と言つて何とか成功した。両角校長は夜学を造りたかつたのだ。その後一九五四(二九)年には大泉駅から学校まで嵐の時などは洪水になるので町の方々と道の舗装に力を尽くされた。

もう一人の思い出ふかい校長といえば、所校長である。身体の弱い人だったが、長年の懸案だつた校内の不発弾処理を実施した。

所校長は、学校群の問題の時も、多くの校長が賛成している中で明確に反対してくれた。勇気のあつた校長と言えるであろう。五三(二八)年以後、教育予算、大学の研究予算の編成、立案のために毎日のように放課後国会に行き終電で帰つて来た。文部大臣の松村謙三、坂田道太に直接来て貰つたこともあつたその折り書いて貰つたのが体育

館に飾つてあるものである。

仕込杖のケンカもあつた昔の高校生は相当イタズラもしたが、明るく責任を負う人物であつた。

高校三期。ある時「釘と金槌をくれ」「何をやる」「椅子が壊れ掛かっている、今直せば使える」「先生は何と言つてた? 公共物を大切にしろと言つてたろ」「彼らは数学の時間をサボツて椅子を直していた。そのグループは理科室に来て解析概論をやり、群論まで勉強していたので、東大の電気に行った者は大

学で数学の時間はすべて欠席してトツプで卒業した。

また、このグループには地電

の論文まで勉強させた。これを聞きつけた教育大の教授がきて、卒業論文の指導を頼むという。そこで当時二年生だつた彼らに指導させた。大学の卒業論を高校生が指導したというのは他には無いのではないか。

イタズラをした生徒もいた。箱根遠足の時私はしんがりを勤めた。途中崖を飛び降りて他の道を選んだ者が居た。私は小田原駅で七時まで待つていたが、下山してこない。しかたなく、

ひとまずはと遅くなつて桜台の駅に着いた。するとポロポロの服を着た数人の生徒が待つていた。「申し訳ありませんでした」と深々と頭を下げた。この中の一人が日航機で死んだ石川貞臣君だ。今の天皇陛下に大変信頼された。

彼の死後友人が子弟の面倒を見ようと言つたとき奥様が「子供には(高校生だつた)自分自身で自立するように亡き主人から常に言われていますので」とキツパリと言われた。頭の下がる思いであつた。こんな人物もいた。喧嘩もあつた。帰りに

校門の所で棒切れを持った数人に会つた。「野球か」「そんなようなもんで」するとそばの生徒が「先生、喧嘩だよ。あれは仕込杖だ」。

これは大変だということの後から来た十人ばかりを追いかけて袋小路に追い込んだ。オレは鬼中隊長だ、来るか」と脅したら彼らは解散した。当時、喧嘩の際には選ばれるのは、今は無き裏の松林であつた。

二期。慶應の工学部に進学した三人が卒論を持ってきた事もあつた。大学生を家に呼んで輪講などさせていた事があつた。

「卒業後の面倒を見る事はイラヌ、後はどうでも良い。大学に入れば後はどうでも良い、余分な事をするな」という校長や先生方もいた。が、私はいつまでも気に掛けるのが教育者としての喜びと認識している。

一期(中三)。赴任当時、「大泉白書」なるものが出ていた。戦前、戦後で急激に意見の変わった先生に対する批判も痛烈であつた。

忘れてはならない人物が、西武の堤康二郎。家庭は雨が降ると水浸しになり校庭が使えないで困つていた。これを聞き伝えた堤氏が好意で、終電の後に貨車で砂利を運んで学校から線路に出た所に下ろしてくれた。生徒達は朝、靴から本を出すときに砂利を一杯詰めて校庭に二回ぐらい運ぶのが日課であつた。この作業は体育の時間にもおこなわれていた。



女生徒に囲まれて得意満面の図

五十年思い出語り 橋本精一先生 思ひ出されぬ過ぎし日の……古い日記から

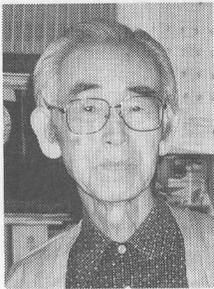
職員用畑

一九四九(昭和二四)年一月二十九日寒肥、六月二十三日麦刈り、二十四日脱穀。

今の校舎では想像もつかない古典的なお手洗いが、今の管理棟の右の端にあった。こんな作業をやるからには日曜日であったに違いない。他は放課後か。米屋へ行って行って一斗五升の麦にしたらもらったが、空腹の身にはずしりと重かった。芋も作った。

私が大泉に勤めたのは、この前年の五月であった。職員には畑を三十坪貸すという、食糧難の時代には文字通り有難い話であった。前任校の時代、西武線も国電も殺人的な混み方で、西武線では死人も出たし、国電では大事な弁当をすられた。

両角先生は数人の生徒に、空腹がまんするから午後まで授業をやって下さいと言われ感動されたそうだ。四十周年記念誌によると「昭和二十一年五月二十三日、食糧事情により一週間のうち火木土の三日は午前中授



橋本先生近影

業、更に体操の時間をへらす」
「九月三日、食べ物のないため登校できぬ者は願出により出席扱いとする」とある。
思い出の職員用畑も今は立派なテニスコートとなっている。

富浦

一九五七(昭和三二)年八月二日

臨海学校の始まりである。両国駅から汽車で富浦へ。内房線は海水浴の客で超満員、立ち通しの苦しさ甚だ。それでもこのかの駅でぶっかき水を窓から買った。宿が富浦の光崎さんに決まるまでには、当時の相川教頭のお骨折りがあった。

六十三(昭和三八)年から一年生全員を対象とするようになった。一度は外房の興津の冷たい海も経験したが、富浦の光崎さんには長くお世話になった。初めのころは交通事情が悪く、バスを使ったこともあった。道の悪い所では前車の巻き上げる埃がひどく、冷房などまだないバスの窓をしめきったからたまらなかった。船を使ったこともあったが、金谷に着いてからのバス輸送が大変であった。

ここで、六代目校長所先生の短歌を紹介する。
○浜木綿や白きゆふ花咲けれど
も見る人もなし駅のかたへに
○あまる飯(いひ)を譲る貰ふ

と賑はひて若きはよろし楽しきものを

○泳ぎ終へて浜辺に吸る汁粉梳生徒の顔の見るにゑまじき

○この土地にゆかり求めて八大伝馬琴を説けり夏の宵居に

臨海は夜も花火、歌、踊りと楽しかったが、体育科の先生、助手の皆さんのお骨折りは大変であった。

泳いでいるとわからないが、舟に立って櫓を漕いでいると海の底がよく見える。岩に櫓の先を当てないように気をつけて漕ぐ。海岸の岩場の様子は今でも目に浮かんで来る。

榛名

一九六四(昭和三九)年二月三日

高崎で昼食用にとりめしを買う。百円。雪のためバスは伊香保回り。夜は寒く、即席ラーメンで体を暖めて寝た。洗面手洗いは外の雪で。四日は一日中滑る。風のある時は上着を広げると舟の帆よろしく、立っているだけで気持ちよく滑る。三度の食事は近くの食堂に頼んであった。わかさぎ井の味が思い出される。五日、帰りは素朴なそりを作り荷物を積み湖上を滑って

帰った。夏と冬と数回行ったが、所先生の歌は夏である。
○山ゆきし生徒帰らず夜に入りぬ霧たちこめて雨さへぞ降る
○立ちこめし夜霧の山をさまよひて生徒らいつくになづみつらむ

○雨に濡れて生徒帰れりしかしがに室に入りつつ涙する女子
○朝あけし榛名の湖やひそくも水面に揺る山の稜線
○遭難のうれひも消えて朝あけぬ榛名の富士のまどかなる線
○生徒らに説きてなつかし夢二の絵夢二はこの湖を愛しき
○夢二の絵生徒に見せてうらやし若き思ひの蘇るかに
この時の参加者はしみじみと思ひ出されることでしょう。

榛名寮の歴史は八一(昭和五六年)年で終わる。五十周年記念誌に恒松先生の「榛名寮挽歌」の一文がある。文は万葉集の挽歌で始まり挽歌で終わっている。その終わりは、「吹く風の見えぬがごとく跡もなき」。

修学旅行

担任として思い出される大きな行事は五回行った京都奈良への修学旅行である。

一九五九(昭和三四)年三月三十日、唐招提寺で作った一首天平の薨に降りて作堂の軒落つる雨わが傘を打つ

その後石上先生が見られ、すぐ音楽室へ行き自らピアノを弾かれ、朗朗と歌われたのには驚き感動した。所先生、石上先生今は亡く、思い出は尽きない。



橋本先生、富浦に櫓を漕ぎ(上)、榛名に氷上を帰る

同期会だより

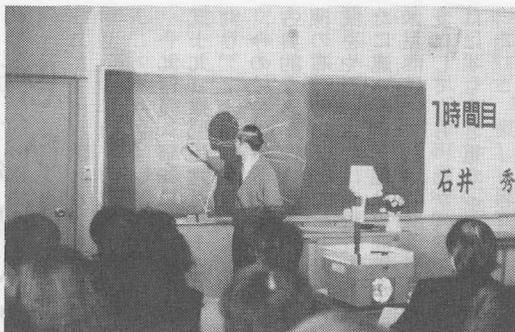
石井秀先生「最後の授業」に 一七の期から一八〇余名

高井千恵子(高18期)

九五年四月一六日(日)、先生が今年定年を迎えられたのを機に、大泉高校で「石井秀先生を囲む会」が開かれた。

この会の眼目は、もう一度先生のあの授業が聞きたい、という声に答えて行われた「記念授業」である。先生が担任なさった18期から34期の五学年を中心に一八〇余名の元生徒達が多目的教室に集まった。

授業のテーマは「民族の交差



OHPを使つての石井先生「最後の授業」(上)は教え子でいっぱい



点(ナトリウム)。先生が現地です実際に撮影されたスライドを駆使して行われた。もちろん例の「プリント」も、わざわざ先生の手書きで用意された。(ご存じない方の為に……石井先生は授業の際に細かい字でぎっしり書かれたプリントを必ず配られた。それを見ただけで憂鬱になった生徒も多かったのでは?)

当時と違って(ノ)熱心に耳を傾ける元生徒の前に、先生は予定の時間を大幅にオーバーして話し続けられた。それでも予定の半分も終わらなかつたので「続きを聞きたい」という声も上がった。「今聞いた方がずっと

よくわかった」という声も。その後会議室で懇親会も行われ、すっかり高校生気分です話に花が咲き、最後には先生の胴上げまで飛び出した。そして参加者は、先生が自費出版された「旅行大好き」という立派なご本をいただいた帰路についた。

それまで見ず知らずだった十数人の世話人が初めて会合を開いてから3ヶ月。懐かしい母校で開催できたのは、沼田先生をはじめ大泉高校のみなさんのご協力あってこそであった。

音楽部 栗林義信氏も出席 思い出のひとつ 梅沢やよひ(高6期)

三年前、同窓会幹事会でオタクこと山田副会長と懐かしい音楽部での思い出話で盛り上がりOB会を企画、岡部先生を囲んでうん十年振りの集まりを持ちました。高校3期から8期までの岡部先生に率いられて関東合唱コンクールで総合二位に入った事もある仲間たちが顔を揃えた最後の思い出の合唱曲の数々を先生の指揮で歌いまくり再会を約して別れたのでした。

その後、先生がご病気で療養されるなど延び延びになっていたのを、ようやく5月末に先生ご夫妻をお招きして第二回を開く事が出来ました。栗林義信氏(高4)もお忙しいなか駆けつけて下さり、石山桂子さん(現鈴木川高5)脚本、岡部先生作曲のオペラ「クラウディオ」が



音楽部



高校5期

栗林さんの事実上のオペラデビューであった事など、楽しいお話をして下さいました。現在もコーラスを趣味で続けておられる方も多く、また先生の音楽の授業を通してクラシックに対する目を開かれ、音楽を聞く楽しみを知ったという方々もおられます。音の狂ったピアノしかなかった音楽室にグラランドピアノが入った日の嬉しかったこと、早弁をして昼休みのレコードコンサートに駆けつけたことなどに、高校時代が一気に戻って来たようなひとときでした。

高校5期 男女交際不自由世代も 今や定年を迎えて 鈴木桂子

私たち5期は、昨年から今年にかけて、あいついで還暦を迎え

ました。ふたたびの還暦記念かと銘うった今年の同期会(五月二十七日池袋)には、約六〇名が参集。ホームベースと化学の名目にご出席。花文にご物理の花崎先生は相変わらず賑やかに登場。そして今感動的だったのは、国語の入山先生がご不自由なお体をおして、かつての教え子に会いたいと車椅子でご出席くださったことでした。

なにしろ私たちが大泉に学んだのは、はるか四五十年の昔です。当時女子は全校でやっと一五〇人、「男女私的交際禁止」などという恐るべき校則も存在して、旧制男子中学の野性的な校風がまだ色濃く残っていました。校庭での朝礼をサボって教室の天井裏に隠れ、誤って天井ごと大音声と共に落下して、駆けつけた入山先生に「校長に見つから

「ないうちに早く隠れろっ！」と一喝されたという伝説のサムライ我ら5期生も、ここ数年の間にその多きが「定年」という人生の大きな山を越えました。まだ現役バリバリの人、悠々自適の人、第二の人生を歩み始めた人とさまざまですが、卒業後それぞれ異なった人生を歩み異なった戦場で戦ったサムライたちが、戦いすんで集った池袋の夜は、話もつきず歌もつきず、記念写真をとるのも忘れるといっておまけつきでした。再見。

高校7期
幹事の心配よそに
ワイワイガヤガヤ
山田清子

傘を持っていった方がいいのかしら？と、そんな梅雨空の

活きのいい名簿ができました！

「名簿」は活き物。生物は鮮度が大事。私達名簿部会は、この鮮度をいかにして保つか、これを命題として今回の名簿の発行に取り掛かりました。

その結果、ただ名簿冊子を発行するためだけでなく、情報をデータベース化し更新の為の標準を作ることとしました。具体的には、会員の皆さんから振込まれる会費の入金チェックの際の住所確認、また会報の戻り等の結果をすぐに入力することもできます。これらの情報を、各期の名簿

六月二四日、土曜日の夕方から七期生の同期会が開かれた。会場は、銀座ソニービルの隣、フランス料理店「ラ・ポルタ」。私たちの同期会はなぜかいつも銀座。五時半の開会だが、「おのほりさんだから、迷ったら大変でしょう。」などと言いながら一時間前から次々と集まってくる。今回は名簿の整理が大分進んだせいか、初めての出席という懐かしい人も何人かいて、幹事としては嬉しい。

しかし、卒業後二十年めから五年毎に催している同期会だが、前回から出席者が六十名程に減ってしまっ、幹事としては何とはなく面白くない。次の会は十年後にしよう。」などと言う幹事もいる。そこで今回はこれらの同期会についてアンケート

名簿部会

幹事の方とやりとりするつもりです。従って今回名簿のデータをいただいた期は、後々同期会等で名簿が必要になった際に、いずみ会で名簿の出力をするこ

とができるようになります。さて、今回発行される「いずみ会創立五十周年記念会員名簿」ですが、(内容は概ね標準的な物ですが)掲載項目は各期の裁量にお任せ致しました。又、可能な限り新しいデータに掲載しましたが、鮮度が期により違うので、何時現在の名簿なのかをできる限り表示致しました。



高校7期

をとることにした。「同期会は何年後がよいか。」「どんな形式がよいか。」「連絡費等の徴収をどうするか。」等々。

文字も見易いようにA4版とし、一クラス一頁としました。そして今回の特別企画は、在学当時を懐かしんで頂く為に母校の時代時代の写真(写真で見ると五十年史)を掲載したことです。是非この機会にご購入の上、ご利用頂きたいと思えます。尚、発行予定日は今年一〇月、頒布価格二五〇〇円(送料別途五〇〇円)となっております。同封の振込用紙をご利用ください。最後になりますが、今回の名簿発行にあたって、大変なご尽力を頂いた各期の名簿幹事の方々に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

そんな幹事の思惑などおかないなく、集まった面々、楽しくにぎやかに、自分の事、娘の事、亀井大臣の事。。。大いに話し合い、飲んで食べてあつという間に閉会の時間になってしまふ。清水、岡部、宇高、大橋、原

田、花崎の先生方、御出席頂きありがとうございます。アンケートの結果、次回は全員が選歴を迎えおわる再来年の春に開くことになりそうです。どうぞお元気で、また御出席下さいませようお願いします。

★これから開きます★

高9期同期会(昭和32年卒)
かねてから計画中の三年ぶりの同期会を、次のように開催します。
日時 九五年一〇月二二日(土) 午後五時~八時
場所 東京・大久保、ホテル海洋
連絡先 佐藤喜昭
☎〇四二三一七五六一六六五

バスケットボールOB総会
日時 九五年九月三日(日)午後一時から
場所 大泉高校二階大会議室
総会后、午後二時から交流試合、午後六時から大泉学園駅北口「桜庭」にて納会。
連絡先 秋田 茂

高校47期 いずみ会幹事

1組	松見 光	177	練馬区関町東1-5-2-E-201	03-3929-5216
	小林真由美	177	練馬区谷原2-13-4	03-3995-5727
2組	斉藤 充	176	練馬区小竹町1-70-7	03-3956-1760
	樋口 智子	179	練馬区田柄1-21-17	03-3938-6863
3組	友田 大介	179	練馬区春日町4-9-4	03-3970-2286
	片野由香里	179	練馬区高松3-12-11-202	03-3998-3289
4組	小野 典子	176	練馬区中村北1-2-7-802	03-3577-1646
	原 真由奈	176	練馬区向山3-10-25-201	03-3926-7556
5組	佐藤 需	176	練馬区豊玉北1-15-11-403	03-3991-0617
	渡部 海	179	練馬区光が丘7-7-3-205	03-3976-1394
6組	古田 靖典	176	練馬区小竹町1-78-2	03-3973-4454
	小田中早苗	179	練馬区田柄1-23-19	03-3977-8357
7組	平野 俊也	178	練馬区南大泉2-26-2	03-3923-4480
	池田菜王子	179	練馬区光が丘2-7-4-703	03-3975-4302
8組	蒲原 友隆	177	練馬区石神井台3-26-8-505	03-3995-5258
	戸田 寛子	177	練馬区東大泉1-10-23	03-3924-0703

※幹事の仕事は名簿の確認、会報の発送、総会の運営などです。どうしても都合がつかないときは同じクラスの人に代理をお願いして下さい。

役員選出規則を決める

幹事総会

五月二十日午後三時より母校会議室にて、幹事総会が開かれました。会に先立ち、山田事務局長より、通知数五四八通、出席数三〇名、委任状一九三通で、いずみ会規約による定足数(幹事の三分の一)を満たし、総会は成立する旨、説明がありました。

会長挨拶で、会員数が一万八

千人となった事、会費納入者数が一六〇〇名を越えた事、前納会費合計で一千百万円を越えた事等報告があり、会員の方々の協力に感謝していると挨拶がありました。また今年は、同窓会五十周年記念式典もあるので、式典への多くの人の参加と一層の協力をお願いがありました。議案に基づき、報告および討

来年はいずみ会役員改選です

いずみ会の現在の役員については、平成七年度をもってすべての役員の任期が満了となります。そこで、次のとおり、次期役員の見学手続についてご連絡いたします。

1 平成八年六月二日(日)に行われる定例幹事総会において、いずみ会役員選挙を行います。

2 役員選挙における立候補届ならびに推薦届の提出期間は、平成七年九月一日から平成八年三月末日までとします。

3 立候補届・推薦届については、左記の事項を明記し、いずみ会選挙事務局(〒一七七東京都練馬区石神井町三丁目一八番一七号、西沢方、☎〇三―五三九三―一八六)宛提出してください。(記載漏れ

がある場合には、無効となる
ことがあります。)

記

① 立候補または推薦する役員の種類(会長・副会長・理事・監査役)

② 立候補者または被推薦者の氏名、期(または卒業年度)、住所、電話番号

③ 推薦届の場合、推薦人の氏名、期(または卒業年度)、住所、電話番号

④ 立候補または推薦の理由(二〇〇字以内。幹事総会招集通知の候補者紹介に転載いたします。)

役員選挙に関する新しい規則は、下に示してあります。なお、いずみ会の事務を手伝って下さる「事務局幹事」についても併せて募集しております。

議に入り、平成6年度事業報告同決算報告、同監査報告等が執行部より行われ、挙手多数にて承認されました。次に、平成7年度事業計画案、同予算案の討議に入り、質疑応答の後、二議案とも挙手多数にて承認されました。

続いて、いずみ会規約改正の件が討議され、挙手多数にて承認されました。改正された部分は下にお示しする通りです。役員選出の際の規約が不備であった為、追加補註したものです。執行部では、多くの幹事の方々の参加を期待しております。そして幹事総会の案内はがきの返却率が約四一%という事に頭を痛めております。幹事の方々は、是非とも、出欠委任のはがきをお出し戴きたくお願い致します。来年は、本年を大きく上回る多くの参加者のもと、活発な論議が繰り広げられることを願って止みません。

また、六月四日午後一時より母校会議室にて、いずみ会総会が開かれました。吉野新校長先生ならびに小野新教頭先生のご出席を戴き、なごやかにパーティが催されました。参加者の数が昨年より少なかった事は、会報での案内(昨年一月)だけであつた為で、会報発行の時期を考へる必要がある事など反省点があげられました。

いずみ会規約改正

(役員の選任方法)

第16条の2 前条第1号に定める役員の選任方法等については、規則においてこれを定める。

いずみ会役員選挙規則

いずみ会規約第16条の2の規定に基づき、この規則を制定する。

(役員選挙開催通知)

第1条 理事会は、本会会員に対し、役員を選任する幹事総会の開催前1年以内に発行する会報において、次の事項について、通知しなければならない。

役員を選任する幹事総会の開催期日

各役員に対する立候補届並びに推薦届提出期間

立候補届並びに推薦届提出方法

(幹事総会招集通知)

第2条 役員を選任する幹事総会の招集通知には、立候補者並びに被推薦者のいずみ会に関する経歴その他必要な事項を記載しなければならない。

(選挙権)

第3条 選挙が行われる年度の4月1日現在において、本会の幹事としての資格を有する者は、役員選挙権を有する。

(委任状の扱い)

第4条 表決を委任された幹事は、委任した幹事の数の

表決権を別途行使することができる。

(当選人の決定)

第5条 会長については、投票の過半数を得た者を当選人とする。投票の過半数を得た者がいないときは、投票の最多数を得た者2人について決戦投票を行い、多数を得た者を当選人とする。

2 副会長、監査役については、候補者が定数を越えた場合に投票を行い、投票の多数を得た者から順に当選人とする。

(信任投票)

第6条 候補者の数が定数以内の場合における候補者に対する信任投票に関しては、当該選挙の行われる幹事総会の期日までに、10名以上の幹事から、特に信任投票を行うことを希望する旨の書面による請求があつた者に対してのみ行う。

2 前項の信任投票については、候補者ごとに行う。

(選挙の管理)

第7条 選挙の管理は、理事会が行う。

(委任)

第8条 この規則の実施に関して必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が別に定める。

附 則

この規則は、平成7年5月20日から施行する。

平成7年度 いずみ会 予算

1. 収入の部		(前年度予算)	(前年度実績)
経常的収入(1~5)	(4,696,000)	(1,990,000)	(2,023,381)
(1)新入会員入会金	1,790,000	1,980,000	1,980,000
(2)本年度分会費	1,625,000		
(3)寄付	1,171,000		
(4)総会参加費	60,000		
(5)雑収入(利息・祝儀)	50,000	10,000	46,381
特別収入(6~8)	(2,050,000)	(0)	(10,000)
(6)名簿売上	500,000	0	10,000
(7)名簿賛助広告収入	350,000		
(8)名簿積立金取り崩し	1,200,000		
(9)前期繰越金	1,676,900	3,322,391	3,322,391
(収入合計)	8,422,900	5,312,391	5,358,772
2. 支出の部			
経常的支出(1~12)	(2,733,170)	(3,986,000)	(3,641,683)
(1)総会費	140,000	140,000	162,803
(2)役員・幹事会合費			
1. 幹事総会開催費	120,000	221,000	154,901
2. 理事会・役員会費	70,000	70,000	57,960
3. 執行部運営費	60,000	50,000	55,477
4. 部会費	70,000	70,000	67,387
(3)監査役会費	10,000	10,000	3,200
(4)会報費			
1. 印刷費	350,000	500,000	475,860
2. 発送費(12,000人)	1,080,000	1,600,000	1,615,070
3. 封書費	80,000	135,000	135,960
4. その他諸経費	100,000	100,000	96,320
(5)会費徴収経費			
1. 口座振替手数料	103,170		
2. 振込用紙印刷等	30,000	120,000	103,038
(6)名簿調査補助金	400,000	200,000	49,909
(7)母校連絡費	100,000	100,000	106,620
(8)新会員向け名簿作成費	0	200,000	157,178
(9)新会員ラベル作成FP費	0	50,000	0
(10)雑費	20,000	20,000	0
(11)名簿積立金支出	0	400,000	400,000
(12)予備費	100,000	100,000	40,189
特別支出(13~15)	(4,545,000)	(0)	(0)
(13)50周年事業費			
1. 印刷費	100,000		
2. 50周年会合費	300,000	0	(40,189)予備費
3. 展示費(パネル等)	100,000		
4. 恩師・来賓招待費	200,000		
(14)名簿作成費			
1. 名簿制作費(外注費)	3,150,000		
2. 会議費	115,000		
3. 作成諸経費	150,000		
(15)設備・什器・備品費			
1. パソコン(ハード)	350,000		
2. " (ソフト)	80,000		
(計)	7,378,170	4,086,000	3,681,872
(16)次期繰越金	1,044,730	1,226,391	1,676,900
(支出合計)	8,422,900	5,312,391	5,358,772

平成4年度いずみ会決算

平成5年3月31日

科目	予算	決算
【収入の部】		
卒業生入会金		15,000
50周年記念事業	4,560,799	4,560,799
総会参加費		96,000
名簿売上		82,000
雑収入	200,000	43,936
前期繰越金	1,080,476	1,080,476
収入合計	5,841,275	5,878,211
【支出の部】		
総会費	350,000	337,729
幹事会合費	750,000	579,540
会報費	850,000	867,807
名簿作成費	150,000	181,098
名簿調査補助金	200,000	90,827
母校連絡費	100,000	75,450
新入会員記念品代	100,000	78,990
雑費	100,000	0
名簿積立預金支出	400,000	400,000
予備費	350,000	0
当期支出合計	3,350,000	2,611,441
次期繰越金	2,491,275	3,266,770
支出合計	5,841,275	5,878,211

平成5年度いずみ会決算

平成6年3月31日

科目	予算	決算
【収入の部】		
新入会員入会金	2,005,000	2,005,000
総会参加費	100,000	100,000
雑収入	30,000	103,396
前期繰越金	3,266,770	3,266,770
収入合計	5,401,770	5,475,166
【支出の部】		
総会費	250,000	137,757
幹事会合費	460,000	373,171
監事会費	10,000	9,292
会報費	1,720,000	868,602
名簿作成費	200,000	175,502
名簿調査補助金	200,000	80,450
母校連絡費	100,000	30,000
新入会員記念品代	80,000	78,001
雑費	100,000	0
名簿積立預金支出	400,000	400,000
当期支出合計	3,520,000	2,152,775
次期繰越金	1,881,770	3,322,391
支出合計	5,401,770	5,475,166

平成6年度いずみ会決算

平成7年3月31日

科目	予算	決算
【収入の部】		
新入会員入会金	1,980,000	1,980,000
雑収入	10,000	56,381
前期繰越金	3,322,391	3,322,391
収入合計	5,312,391	5,358,772
【支出の部】		
総会費	140,000	162,803
役員・幹事会合費	411,000	335,725
監査役会費	10,000	3,200
会報費	2,335,000	2,323,210
会費徴収経費	120,000	103,038
名簿作成費	200,000	157,178
名簿調査補助費	200,000	49,909
母校連絡費	100,000	106,620
新入会員ラベルFP作成費	50,000	
雑費	20,000	
名簿積立金支出	400,000	400,000
予備費(50周年記念事業委員会費)	100,000	40,189
当期支出合計	4,086,000	3,681,872
次期繰越金	1,226,391	1,676,900
支出合計	5,312,391	5,358,772

いずみ会財産

平成7年3月31日現在

普通預金	1,599,856
郵便貯金	380,000
郵便振替口座	4,955,650
定期郵便貯金	6,000,000
定期貯金	1,200,000
仮払金	77,044
合計	14,212,550
名簿積立金	1,200,000
前受会費等	11,335,650
次期繰越金	1,676,900
合計	14,212,550
同窓会名簿(平成3年発行)	2,800冊
大泉高校50周年記念誌	310冊

冬季五輪 初のメダリスト

猪谷千春さん訪問

かつてのモテモテ男は今もダンディーだった

東京地方に大雨注意報が出たその日七月四日の火曜日、高校四期会長の藤森久明さん、小野寺正臣さんと三人で、猪谷千春さんの事務所を訪ねました。皇居のお堀に面したAIGビルの一階で、非常に眺望のよいところでした。

「猪谷さんは、お忙しい日程の合間を縫って、快く会ってくださいました。また高校同期とあって、おおいに歓迎してくださりました。」

「新聞やテレビではよくお見かけしますが、実際にお会いして敬談するのは卒業以来初めてな

ので、四十年振りの再会。始めは何となくさこちなかったのですが、それもすぐにとけて、昔の高校時代に戻りました。猪谷さんが入学したのは、昭和二十四年(一九四九年)、一年生の二期期でした。

「今度、猪谷千春君というスキ―の選手が入ってきます」と聞かされましたが、当初はそんなに関心を呼んだわけでもありませんでした。

「あら、普通の男の子じゃないかと私たちが女生徒は話し合っ

に雪国から離れた東京では、スキーをやる人は本場に稀でした。そのスキーという競技と私たち日本人の距離を一挙に縮めたのが、猪谷さんのオリンピック二位の快挙でした。

昭和二十七年(一九五二年)二月、イタリアの科尔ティナ・ダンペッツォで開催された第七回冬季オリンピックの回転競技で、猪谷さんはトニー・ザイラー(オーストリア)に次いで本場に堂々の二位。日本人で初めて冬季大会でメダリストになりました。このニュースは、すべ

ての新聞が一面トップで報道、猪谷さんの雄姿に日本中が沸き立ちました。アメリカ選手団の美女たちと談笑する猪谷さんの写真(左)なども掲載され、猪谷さんは、大泉で一番どころか、日本で一番モテる男になってしまいました。

猪谷さんは、現在IOC委員として、三年後に控えた長野大

会に向け、その準備にご多忙のようです。しかもAIG(American International Group)の會長さんというお仕事柄もあって、一年のうち三分の二は海外に行っておられるとのことでした。

それでもスポーツ好きは相変わらず。ゴルフは四十代から始めてシングルとのこと。いっそいずみ会でゴルフの「猪谷千春杯」をつくり、コンペなど開催しては? などと考えながら、またの再会を約束して事務所をあとにしました。

(日高周子 高4期)



「だから猪谷ばかりモテたんだよな。おれたちは本当に被害甚大だったよ」と、小野寺さんが昨日のことのように悔しがります。

ザイラーに次ぐ2位

戦後間もなくの時代です。今こそスキーは大衆のスポーツですが、当時は高嶺の花。こと



いずみ会創立50周年 記念会員名簿

本年10月、堂々完成予定。
写真で見える大泉中学・高校のページあり。
お申し込みは同封の「50周年記念事業」
振込用紙にて。(2500円、送料別途500円)
詳細は本紙5ページをご覧ください。

10月14日、母校に再会の輪を

会長 田中英道 (中2期)

厳しい暑さもひと区切りですが、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。

本年は同窓会創立五十周年の大きな節目に当たります。その記念行事を十月十四日(土)母校体育館に於いて行う予定で、一期の名倉さんを中心に実行委員会準備を進めております。この半世紀にわたって存続し、



折り返し点での新任、幸せです

第十五代校長 吉野尚也

校門から校舎正面に続く桜並木、伝統の大泉は私の憧れの学校でした。その大泉に第十五代校長として着任させていただきました。幸せな数カ月が過ぎました。

東京府立第二十中として創立してから五十余年、これまで営々と築き上げてこられた歴代の校長先生や教職員、そして各



今新たな価値を創りつつあるいずみ会の生命力と躍動に皆で乾杯しようではありませんか。学び舎は同じでもそれぞれ異なる体験を持つ人々が集い語りあつて今後の人生に広がりやができればと願っております。

当日は懐かしい先生方をお招き致しますので、どうぞ会員の皆様もお誘い合わせの上多数ご参加下さいませようお待ち致しております。

さらに記念事業の一環として八割程の会員の住所が判明した新しい名簿を発行販売いたしました。この作成に当たり、賛助広告及び寄付等を募集して資金の

界で活躍される一万八千余名の同窓生に、先ず心からの感謝の言葉を申し上げ次第です。

今朝も大泉は、先生方や生徒の「おはようございます」の大きな声が始まります。

遅刻すれすれに走り込む生徒はいても八時半の校舎は一瞬にして静まり返ります。

そして、放課後になれば部活動の熱気一杯です。

「文と武の調和のとれた大泉」「校友の歌」「援団」「マスコット」は今も健在です。

定期考査が近付くと質問の列が出来、それに応える先生方の

一部に供したいと思っております。よろしくご支援お願い致します。さて、いずみ会は本年三月九日47期生三五八名を迎え会員数およそ一万八千名となりました。

平成六年度を振り返ってみました。「開かれたいずみ会」を指して、規約の改正(選挙規則の制定)、会費制の導入等組織機構の改革が一步一歩力強く進んで参りました。念願の財政基盤の確立についても、会員の皆様

の暖かいご協力とご支援によって会費納入者も一、六〇〇名を越え、額にして一、一〇〇万円を越えました。そのうち平成七年度分としては、予算書の通り

姿も相変わらずなのです。教育とは、次世代に生きる人間を育てることによって、未来を創造する最も基本的な営みなのです。「流行と不易と言われ

る如く、教育もまた時代の変化に対応しなければならぬ面もあります。しかし、大泉高校は学びたい者と教えることに喜びを感じる者との厳しくとも温かな人間関係の場である伝統は変えてはならないと思っています。

「蘭麝(らんじや)の室(しつ)」に入る者は自(みず)から香(かん)ばし」と言われます。

大泉高校同窓会五十周年、まさに半世紀の折り返し点、その機に出会えた校長として幸せに思うこの頃です。

寄付を含めて二、七九六、〇〇〇円の額で組んでおります。一方この会報39号は一万五千部程が発送されているはずであり、これもひとえに各期の幹事さんと名簿部会の奮闘努力の賜と感謝しております。

最後に会報の発送が一万部を越えたと同時に人手不足の問題が深刻化してきたことをお知らせせねばなりません。分厚い会報を何時間も折り続けた為に腕があらなくなった幹事も出た程です。次回40号の発送のときは、どなたでも、一時間でも結構ですから母校会議室でお手伝い下さるようお願い申し上げます。(日時については幹事におたずね下さい。)

それが祝賀会でお会いいたしましょう。

大泉高校平成7年度人事異動

(敬称略)

▼転出・退職(新任校)

校長 平田和夫(退職)

教頭 若林明弘(退職)

国語 土屋明彦(立川)

地理 小保利男(信州短大)

数学 渡辺 淡(清瀬)

生物 吉成 裕(清瀬)

保健 手打和明(東大和南)

図書 岩永節子(武蔵野北)

▼転入(前任校)

校長 吉野尚也(大森東)

教頭 小野久保(三田)

地歴 山口宗雄(文京)

数学 池田 進(光が丘)

生物 稲垣 希(向が丘)

保健 武田富雄(青井)

計報

恩師の先生方で、近年、石上堅先生、芹川正虎先生、大里忠先生、更にこのほど野沢要助先生がご逝去遊ばされました。まことに残念です。慎んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

▼大先輩の猪谷千春さん(高4期)に、同期の方々が会われるというので、写真撮影を口実に同行させて頂きました。私たちの年ごろにはあまりに有名で説明不要な猪谷さんですが、若い人々には、説明不要を説明すべく、昨年猪谷さんが出された「わが人生のシュプール」(ベースポールマガジン社)をお薦めしておきます。

▼さて、猪谷さんに続いて国際社会に乗り出そうと、現在在校生が「東京都高校生留学事業」で海外に留学していますが、逆に海外からも高校留学生を受け入れるべく、東京都は「ホストファミリー」を募集中です。来年三月からの受け入れはこの九月末が締切。ご興味のある方は、東京国際交流財団総務部国際交流課、☎〇三三三二一一七四四五へご連絡を。

▼最後はお詫びです。前号・会報38号の役員名簿の顧問(校長先生)をお願いしています。田中公一先生でなく、平田和夫先生の誤りでした。お詫びとともに訂正いたします。(中村謙 高18期)